

新年度がスタートしました。少しの緊張と大きな希望を胸に、新しい学級での生活が始まったことと思います。義務教育も最後の1年となり、「進路なんてまだまだ先のこと」と思っていた人たちも真剣に自分の将来と向き合うべき時期となりました。進路に関する3年生向けの情報をこの「道しるべ」を通して提供していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。なお、今後配付される進路関係の書類はどれも大切なものばかりです。生徒の皆さんはきちんと保護者に書類を渡してください。また、期限付きの提出物も多数出てきますので期限を守ってご提出くださるようお願いいたします。

適切な進路実現のために・・・

*親子で進路についての話し合いをもちましよう

進路に関してご家庭での話し合いは始まっているのでしょうか。進路選択に際して最も重要なのは、保護者の方とお子さんとの希望が十分に話し合われ、それぞれが納得した形で決定していくことだと思います。

裏面におおまかな進路関係の日程を記載してありますのでご確認ください。直前になっての相談は、先を見通すことができずその場限りのものとなりがちです。どこの学校に進学するかだけでなく、将来どんな職業に就きたいのか、自分の長所が生かせる職業は何か、どんな生き方をしていきたいのか、将来について広い視野でしっかり考えることが重要です。

ご家庭においては気軽に相談できる雰囲気作りや信頼関係を築いておくことが大切です。子どもの考えを受け止めながらも、保護者として、また人生の先輩として一緒に考える姿勢を大切に、しっかり目標を定めていけるよう日頃から話し合っておいてください。



*生活や学習への取り組みを見直しましょう

どんな進路を選択したとしても、そこで学んだり働いたりしていくためには基本的な生活習慣が身についていることが必要です。あいさつや身だしなみ、時間を守ること、きちんとした言葉遣いなどは生活面の基本です。ルールを守って生活することは社会に出ても大きな意味をもちます。試験会場でも高校の先生方は受験生のことを丁寧に見ています。生活面をしっかりすることが進路実現の土台となりますので、毎日の生活を大切にしていきましょう。ご家庭でのご協力もお願いいたします。

学習については授業を大切にすることはもちろん、家庭学習の計画をしっかり立てて継続的に取り組みましょう。「部活動を引退してから本気でやろう」では遅いのです。3年生で新しく習うことをその都度消化していきながら、1・2年生で習ったことをしっかり確認し、身に付けていかなければなりません。『学問に王道なし』努力を怠らず、日々の積み重ねを大切にしましょう。



後悔のない中学校生活を送って、自分の進路を切り拓いていきましょう。